

2月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は子育て支援課若しくは各支所保健福祉課へ連絡してください。

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	27年10月1日～16日生まれ	24☉	12:45～13:00	一関保健センター
		27年10月17日～31日生まれ	25☉		
	9～10カ月児相談	27年4月1日～13日生まれ	24☉	8:45～9:00	
		27年4月14日～30日生まれ	25☉		
	1歳6カ月児健診	26年7月1日～15日生まれ	18☉	12:45～13:00	
		26年7月16日～31日生まれ	19☉		
	2歳6カ月児歯科健診	25年8月1日～14日生まれ	18☉	8:45～9:00	
		25年8月15日～31日生まれ	19☉		
	3歳児健診	24年8月1日～16日生まれ	4☉	12:45～13:00	
		24年8月17日～31日生まれ	5☉		
大東 千歳 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	27年10月生まれ	23☉	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	27年4月生まれ	16☉	9:00～9:15	千歳保健センター
	1歳6カ月児健診	26年7月生まれ	18☉	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	25年8月生まれ	16☉		
	3歳児健診	24年8月生まれ	17☉		

*きょうだいなどの同伴でお手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください。

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎4170

就学前の子供と保護者が、自由に遊んで交流を深めます。保育士・専門スタッフが子育ての相談にも応じます。

◇日時…月～日 9:30～15:30、☉・第1☉・第3☉ 13:30～15:30 *☉を除く

◇場所…一関保健センター

傾聴ボランティアサロン

☎健康づくり課（一関保健センター内）

一人で悩まず相談してください。

◇日時…2月16日 ☉10:00～11:30

◇場所…一関保健センター

◇内容…傾聴ボランティア会員による傾聴

保健所の2月の検査など

☎一関保健所 ☎1415

【①骨髄バンクドナー登録と②血液等検査】

◇日時…2月9日 ☉、23日 ☉ *時間は①9:00～9:30 ②11:00～12:00

◇場所・参加費…一関保健所・無料

◇その他…要予約 *②の検査種類はHIV、肝炎、クラミジア

【医師によるこころの健康相談】

◇日時・場所…2月4日 ☉13:30～15:30・一関保健所

【フリースペースひだまり】

◇日時・場所…2月1日 ☉、15日 ☉、13:30～16:00・市勤労青少年ホーム



医療と介護の窓

～みんなで守ろう地域医療～

文・一関西部居宅介護支援事業所協議会 会長 氏家健司

退院支援と介護支援専門員について

■退院支援とは

退院支援とは、患者が再入院を繰り返さないよう、退院後も安全に療養を継続できるように環境を調整することです。

この調整の要となるのが介護支援専門員（以下、ケアマネジャー）です。

ケアマネジャーは、介護サービスを利用している患者の家族や、病院、訪問看護ステーションなどから入院の連絡を受けると、病院スタッフに入院前の生活の様子を伝え、入院後の病状や心身の状況を把握します。

■退院後のサービス調整

病院から退院の許可が出ると、医師、病院の医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師、入院前に利用していた介護サービス事業所、家族などを交え、利用者が快適に

安心して退院できるよう、サービスの調整を行います。入院後から介護サービスを受ける利用者も同様の手順で支援します。

サービスの調整は、介護保険のサービスだけではなく、医療保険による訪問看護利用、医療機器購入の紹介、退院時の介護タクシーの手配なども支援します。

また、患者がやむを得ず自宅に戻らずに施設入所を希望する場合でも、患者の心身の状況や経済状態を考慮しながらサービスを調整します。

患者が自宅に戻った後は、かかりつけの医師、訪問看護ステーション、介護サービス事業所と連携を図り、支援を継続します。介護手当（在宅で要介護4・5の利用者を介護される人）、介護用品支給（在宅で要介護4・5の利用者を介護される非課税世帯）の申請の支援も行います。

☎健康づくり課（一関保健センター内）

NEWS HOTLINE ▶ホットな話題をラインナップ

国際リニアコライダーを見据えたまちづくりを考える
第4回いちのせきサイエンスカフェ

「いちのせきサイエンスカフェ」は1月16日、一関図書館で開かれ、参加者が国際リニアコライダー（ILC）を見据えたまちづくりについて考えました。

本年度最後になる第4回講座には、市民ら32人が参加。講師に、東北大学キャンパスデザイン室の小貫勲（おのり）さんを迎えました。小貫さんは「ILCは、新技術や産業間の連携を生み出します。一関にしかないものを生かして楽しいまちにしたい」と強調しました。市内山目の那須英喜さん（73）は「実現には地域の盛り上がりが必要。市民として取り組めることを考えていきたい」と話し、真剣に聞き入っていました。



小雪舞う厳寒の中、蘇民袋奪い合う
伝統の興田神社蘇民祭

大東町鳥海の興田神社蘇民祭は1月10日、同神社などを会場に開かれ、参加者17人が無病息災などを願って蘇民袋を奪い合いました。

未明から雪が降り出した当日。厳しい寒さの中、上半身裸にさらしを巻いた参加者は、燃え盛るやぐらに登って「ジャッソー、ジョヤサ」と氣勢を上げました。メインの蘇民袋の争奪戦では、小間木と呼ばれる護符の入った麻袋を巡った肉弾戦が繰り広げられました。還暦祝いで参加した同町鳥海の今川廣喜さん（60）は「1年間、病気をしないで健康に過ごしたい。地域を挙げて祭りを盛り上げたい」と願っていました。

威風堂々と消防団員ら1,230人が行進
市消防団、統合から10周年の節目

一関市消防出初式は1月17日、市総合防災センターなどで行われ、市消防団員と婦人消防協力隊員ら1,230人が2016年の防災への決意を新たにしました。

市消防団大森忠雄団長を先頭に、大町通りを行進。団員らは表情を引き締め、統監の勝部修市長に敬礼。防災活動の中核を担う消防団の使命を再確認していました。

息子の颯太君（4つ）と分列行進を見学した市内萩荘の菅原のさん（37）は「わが家では、電気や水を使わない日を決め、緊急時に備えるようにしています。日ごろの意識が大切ですね」と話してくれました。



新年の希望を筆に託す
東山で書き初め席上揮毫会

第38回を数える東山地域書き初め席上揮毫会は1月11日、東山地域交流センターで開かれ、参加者が新年の希望や抱負を筆に託しました。

同会には、東山地域の小中学生24人と一般3人が参加。はじめに講師の佐藤関水（本名・徹）さんが習字のポイントを指導し、参加者が書き初めを行いました。題字は「いし」「石灰」「清流鉄砂川」など東山地域にちなんだもの。参加者は、真剣な表情で筆を走らせていました。東山小6年の中村想さんは妹の心さん（同3年）ときょうだいで参加。「文字のはらう部分に気をつけながら丁寧に書きました」と教えてくれました。